

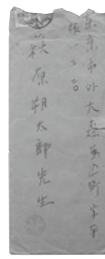
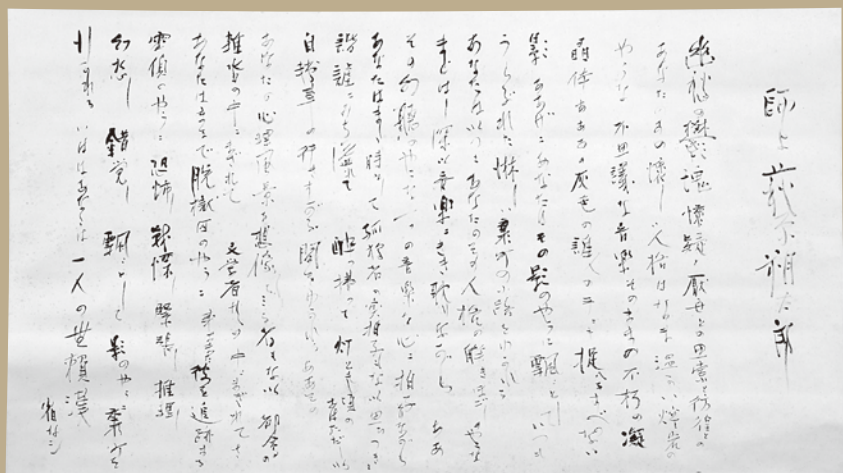
# 師・萩原朔太郎と

# 三好達治



萩原朔太郎愛用のギター  
(前橋文学館蔵)

三好達治  
「師よ 萩原朔太郎」書幅  
(当館蔵)



三好達治  
萩原朔太郎宛書簡  
(前橋文学館蔵)

## 関連イベント

### 1. 萩原朔美氏講演会

#### 「朔太郎の故郷は土地ではないかも知れない」

講師：萩原朔美(前橋文学館館長)

日時：2022年12月17日(土)  
14:00~15:30

会場：福井県立図書館 多目的ホール  
定員：70名

要申込  
無料



### 2. 九里順子氏文学講座

#### 「ことばを「盗む」犀星 —朔太郎・達治に触れつつ—」

講師：九里順子(近代文学研究者)

日時：2022年10月8日(土)  
14:00~15:30

会場：福井県立図書館 多目的ホール  
定員：50名

要申込  
無料



### 3. クイズラリー

展示室にあるクイズを解いて  
プレゼントをゲットしよう!

会期中、文学館カウンターで受付!

現在の群馬県前橋市に生まれた萩原朔太郎は、一九一七年に処女詩集『月に吠える』を刊行。感情の奥底を口語のリズムで表現し、当時の詩壇に大きな影響を与えました。そして日本の近代詩史上に口語自由詩という新たな作風を確立していきました。また、詩の本質と詩が生まれる背景を様々な角度から分析した詩論集『詩の原理』や散文詩などによって、生涯にわたり詩的表現を追究し続けました。

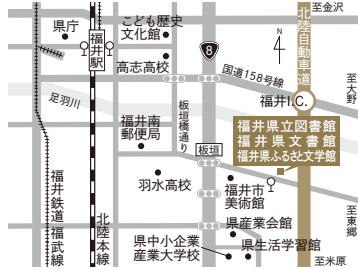
その朔太郎の新しい詩に接し、大きな影響を受けたのが福井ゆかりの詩人・三好達治です。高校時代『月に吠える』を読み、その魅力に心酔した三好は、一九二七年に朔太郎が転居先を見つけてくれたことをきっかけにして交友が始まり、創作と実生活の両面で、生涯師弟としての交わりを続けました。そして朔太郎の死に際しては、「師よ 萩原朔太郎」によってその詩業を称え、師への想いを詠いました。

萩原朔太郎没後八〇年を迎える今年、全国の文学館などで一斉に開催する「萩原朔太郎大全2022」の一環として開催する本展覧会は、日本の近代詩に新たな境地を開いた萩原朔太郎と、朔太郎を師と慕った三好達治についてご紹介します。

## 福井県 FUKUI MUSEUM OF LITERATURE

# ふるさと文学館

〒918-8113 福井県福井市下馬町51-11  
(福井県立図書館内)  
TEL 0776-33-8866 FAX 0776-33-8861  
E-mail bungakukan@pref.fukui.lg.jp  
HP <http://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/>



フレンドリーバス(無料) ● JR福井駅東口バスターミナルから約15分  
アクセス  
路線バス ● JR福井駅西口交通広場5番のりばから市内バス(62系統一乗谷東郷行き)約12分  
車・タクシー ● JR福井駅より約15分、北陸自動車道・福井ICより約20分

